

平成29年度運用時における 情報共有について

平成29年8月3日(木)
多治見市タイムライン事務局

運用の進め方（案）

多治見市タイムライン(平成29年度運用版)の各主体における行動項目毎の実施手順や実施するために必要となる事項を確認・検証することを目的として、多治見市タイムライン(平成29年度運用版)を運用する。

<進め方の概要>

- 対象：多治見市タイムライン(平成29年度運用版)、対応シート(各主体で作成)
- 実施時期：8月～10月下旬
- 実施場所：各主体の持ち場で実施。
- 実施者：各主体
- 運用時のポイント
 - ①タイムラインレベル1のトリガー情報・条件が発表された時点で各主体は多治見市タイムライン(平成29年度運用版)の運用を開始。
 - ②各主体は、対応シートを参考にしつつ、各行動項目を実践。
 - ③各主体間での情報共有(各主体が実践した行動項目の共有など)
 - ④各主体が実践した行動項目を記録

情報共有の運用内容について（概要案）

メーリングリストを活用した各主体間での情報共有を実践し、各主体間での情報共有上の課題を把握する。

＜情報共有の具体＞

●共有者:各主体

●共有時期:各主体が行動項目を実践し、完了した時※

※可能な範囲でタイムラインステージ2までをリアルタイムとする。

状況が逼迫した場合は事後報告でも可。

●共有内容・共有方法:

①昨年度作成したメーリングリスト(tajimi-tl-ml@npo-cemi.org)を使用する。

・各主体で複数の登録が可能

・メーリングリストは事務局が管理

・メーリングリストで共有される内容は、各主体間のみで共有される(原則非公開)

②共有する情報内容を明確化し、情報の混乱を回避。

③各機関内での転送時にはメーリングリストからの転送であることを明記

情報共有の内容について（案）

メーリングリストで共有する内容は、①タイムライン表で複数の機関が情報を受け取ることになっている内容②避難や通行・立ち入り規制等に関する内容③被災状況（現地状況等）に関する内容④座長・アドバイザーによる助言等とする。

＜情報共有内容の具体＞

①タイムライン表で複数の機関が情報を受け取ることになっている内容

タイムラインの運用等：タイムラインの運用開始やステージ引き上げ・解除について情報共有
（※昨年度と同様）

気象情報等：情報の発表や更新について情報共有を行い、具体的内容は該当HPへ誘導
（※今後の見通し等の助言情報は必要に応じて共有する）

河川情報等：情報の発表や更新について情報共有を行い、具体的内容は該当HPへ誘導
（※今後の見通し等の助言情報は必要に応じて共有する）

②避難や通行・立ち入り規制等に関する内容

避難に関する情報等：避難所の開設状況、避難情報の発表について情報共有

通行・立ち入り規制等：規制（予定）の箇所、規制理由について情報共有を行う。

詳細HP等がある場合には該当ページへ誘導

③被災状況（現地状況等）に関する内容

現地状況等：浸水等の恐れがある場合に、該当箇所や対応状況について情報共有

被災状況等：被害が発生している場所や対応状況・住民の避難状況について情報共有

④座長・アドバイザーによる助言等